

## 人材開発分科会における 2019 年度実績評価及び 2020 年度目標設定について（案）

### ① 地域若者サポートステーションの就職等率

#### 【2019 年度実績】

地域若者サポートステーション（以下「サポステ」という。）の支援による就職等率は、目標 60%に対して、実績は 67.0%となっており、目標を達成。

主な要因は、ハローワークとの連携を強化するなどサポステの利用者に対する、就職に向けた取組を強化したことと考えられる。

#### 【2020 年度目標】

目標値：地域若者サポートステーションの就職等率：60%

本年度から支援対象としている就職氷河期世代の方々の中には、長期にわたり無業の状態にあった等により様々な課題を有している方が見られることから、他の世代と比較して、就職等の実現までに相当期間の継続的な支援が必要とされている。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、サポステへの新規登録者の減や相談支援の実施件数の減が見込まれる。

2019 年度目標を達成しているが、これらの現状を踏まえつつ、総合的に勘案し、2020 年度における目標を 2019 年度と同じ 60%に設定。

### ② ハローワークの職業紹介により正社員就職に結びついたフリーター等の数（2019 年度）

#### わかものハローワーク等を利用して就職したフリーターのうち、正社員として就職した者の割合（2020 年度）

#### 【2019 年度実績】

「わかものハローワーク」等の支援拠点を中心にきめ細かな個別支援や、就職支援ナビゲーターの配置による訓練への誘導機能の強化等に取り組んでいるが、目標 25.5 万人に対して、実績が約 20.4 万人となっており、目標を未達成。

主な要因は、雇用情勢等の影響を受け、支援対象となる新規求職者数が大幅に減少したこと（100.9 万人→87.4 万人）等によるものと考えられる。

#### 【2020 年度目標】

目標値：わかものハローワーク等を利用して就職したフリーターのうち、正社員として就職した者の割合 66%以上

昨年度まではフリーターに加えておおむね 35 歳以上の不安定就労者も対象としていたところ、本年度より、「経済財政運営と改革の基本方針 2019」等に基づき、ハローワークに就職氷河期世代専門窓口（35 歳以上 55 歳未満）が設置されたことから、わかものハローワークの支援対象はおおむね 35 歳未満のフリーターに限定した。

よって、本年度においては、より直接的な事業効果を測定するため、わかものハローワーク、ハローワークのわかもの支援コーナーやわかもの支援窓口を利用して就職したフリーターのうち、正社員として就職した者の割合を目標とする。目標値については、過去 3 年間（2017 年度～2019 年度）の実績を踏まえ設定。

### ③ 就職支援ナビゲーター（旧学卒ジョブサポーター）による支援（正社員就職者数）

#### 【2019 年度実績】

就職支援ナビゲーター（旧学卒ジョブサポーター）の支援による正社員就職者数は、目標 18.2 万人に対して、実績が 18.3 万人となっており、目標を達成。

主な要因は、就職支援ナビゲーター（旧学卒ジョブサポーター）が大学等への巡回等を通じ、未内定の大学生等を対象に、新卒応援ハローワークの早期利用を促すとともに、担当者制によるきめ細かな職業相談・職業紹介、3 年以内の既卒者等で安定した職業に就いていない者の誘導等を実施したことと考えられる。

#### 【2020 年度目標】

目標値：就職支援ナビゲーターによる支援（正社員就職者数）：178,000 人

新卒応援ハローワークにおいて就職支援ナビゲーターによる新規学卒者等への就職支援を行っているところであり、その正社員就職者数を目標として設定している。2020 年度は、昨年度実績見込みを踏まえ、学生・生徒数及び未就職卒業者の減少等を加味して、目標とする正社員就職者数を設定。

### ④ ジョブ・カード作成者数

#### 【2019 年度実績】

ジョブ・カード作成者数は、目標 25.0 万人に対して、31.6 万人と前年度比約 7.3 万人増加し、目標を達成。

主な要因は、平成 30 年行政事業レビューの指摘を踏まえジョブ・カードセンターの業務内容を見直し、ジョブ・カードをキャリアコンサルティング等に活用する企業等の開拓及び支援を重点的に実施したこと、ジョブ・カードを作成してキャリアコンサルティングを受けることが受給要件となっている教育訓練給付制度の見直しが行われたことと考えられる。

#### 【2020 年度目標】

目標値：ジョブ・カード作成者数：21.2 万人

2020 年度においては、2017～2019 年度の実績をもとに新型コロナウイルス感染症の影響による訓練関係機関及びキャリア形成サポートセンター等におけるジョブ・カード作成者数の減少等を加味して設定。

### ⑤ 公共職業訓練（離職者訓練）の就職率

#### 【2019 年度実績】

公共職業訓練（離職者訓練）の就職率は、目標が施設内訓練は 80%、委託訓練 75%に対して、実績は施設内訓練が 85.5%、委託訓練が 73.0%となっており、施設内訓練は目標を達成、委託訓練は未達成。

未達成の主な要因は、就職率は訓練修了後 3 か月間の就職実績から算出しているが 2020 年 1～3 月に終了した訓練は、その算定期間に新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための緊急事態宣言が発出されていた期間が重なったことなど、新型コロナウイ

ルス感染症の影響が、年度全体の実績にも大きく影響したと考えられる。

#### 【2020 年度目標】

目標値：公共職業訓練（離職者訓練）の就職率：施設内訓練 80%、委託訓練 75%

施設内訓練については、新型コロナウイルス感染症の影響も考えられるが、（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構の中期目標において 80%以上と定めていることから、引き続き同値を設定した。また、委託訓練については、2017 年度及び 2018 年度は同目標を達成していることから、2019 年度において目標を下回ったが、2019 年度と同値を設定。

### ⑥ 求職者支援制度による職業訓練の雇用保険適用就職率

#### 【2019 年度実績】

求職者支援制度による職業訓練の雇用保険適用就職率は、目標が基礎コース 55%、実践コース 60%に対して、実績は 2020 年 1 月末までに終了した訓練コースの修了 3 か月後の実績（※速報値）で、基礎コース 57.5%、実践コース 63.2%とそれぞれ達成。

主な要因は、求人・求職者のニーズに合致した訓練の設定、訓練実施機関・ハローワーク等の連携による就職支援等の取組の推進が有効であったためと考えられる。

#### 【2020 年度目標】

目標値：求職者支援制度による雇用保険適用職業訓練の就職率：基礎コース 58%、実践コース 63%

過去 5 年間（2014 年度～2018 年度）の就職率実績（平均値：基礎 57.2%、実践 62.2%）を踏まえ設定。

### ⑦ 技能検定受検合格者数

#### 【2019 年度実績】

技能検定受検合格者数は、目標は 33 万人に対して、実績が 363,734 人となっており、目標を達成。

#### 【2020 年度目標】

目標値：技能検定受検合格者数：21 万人

合格者数の目標値は、過去三カ年平均をベースとして、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前期試験を中止したこと、入国制限による技能実習生の受験減を加味して設定。